備前市事務事業評価シート

（平成23年度事業）

事業の概要

事業開始年度		平成２０年度～		根拠法令・例規等	備前市子ども情報センター設置要綱
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化とひとが輝くまちづくり	問合先	担当課（室） 生涯学習課生涯学習係
	中項目	基本施策	02 生きがいのあるまちづくり		職・氏名 係長　杉田和也
	小項目	施策	01 家庭教育		電話 ６４－１８４１
事務事業名			01 家庭教育支援事業	このシート作成に要した時間	2.0 時間

Plan

事業の目的

対象（誰・何に対して）	市内で子育てをしている保護者
目的（何のために）	子育てに関する課題を解決するために、家庭教育に関する学習支援、交流機会の情報提供等を行う
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	子育て支援についての情報提供や啓発により、行政と地域が協働で子どもを育む基盤づくりをする

Do

事業の実績

	細事業名	事業の説明	優先度
目的を達成するため実施した事業	家庭教育推進事業	子どもたちが基本的生活習慣を身につけることを目指し、市内幼稚園・小学校で生活リズム向上事業に取り組む	◎
	子ども情報センター運営事業	子どもの地域における体験活動・奉仕活動の機会や家庭教育の支援等に関する情報を子どもたちが容易に入手できるよう情報紙を発行し、体験活動・奉仕活動への参加等の支援を行うことを目的にした事業。	○

事業費等

事業費等		単位	平成21年度実績		平成22年度実績		平成23年度実績	
決算額 事業費	直接事業費	千円		646		617		626
	必要人員 人件費	千円	0.43人	3,261	0.42人	3,762	0.55人	4,914
	事業費計	千円		3,907		4,379		5,540
財源	国県支出金	千円						
	受益者負担	千円						
	繰入金	千円						
	市債	千円						
	その他（　）	千円						
	一般財源	千円		3,907		4,379		5,540
受益者負担比率		%		－		－		－

結果指標

結果指標名	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
情報紙ときめきなび発行経費	説明	情報紙ときめきなびに係る発行経費		
結果指標量	円	20,000	20,000	20,000
対前年比	%	－	100.0%	100.0%
活動コスト	円	2,617,967	2,929,490	3,705,364
単位当たりコスト	円	131	146	185

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性を評価

事業の成果

成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
ときめきなびを家族と一緒に見て活用している世帯の割合	目標値（A）	50	50	50	50
	実績値（B）	34	35	48	到達目標値
	達成率（B/A）	68.00%	70.00%	96.00%	70

成果指標設定の考え方・式や説明

児童生徒を通じて各家庭に配布している情報紙を、家族と一緒に見て活用していただくため、魅力ある情報紙の紙面づくりに努める

Check

事務事業の評価

該当する項目を□から■へ　＜ ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください＞

妥当性の評価（市の関与の妥当性・必要性／市民ニーズ）

- □ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- □ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- □ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- □ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- □ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ■ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- □ 事業開始当初の目的から変化してきている
- □ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
- □ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある
- □ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価（A 高い／B やや高い／C 普通／D やや低い／E 低い）：**C**

効率性の評価（コスト手段）

- □ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- □ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- □ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- □ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- □ 受益者負担率は適正である
- □ 受益者負担率を見直す余地がある
- □ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- □ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- ■ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価（A 高い／B やや高い／C 普通／D やや低い／E 低い）：**C**

有効性の評価（目的達成度／市民参画度）

- □ 成果指標の設定は適切である
- □ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- ■ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- □ 成果指標達成率は80%未満となっている
- □ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
- □ 法定事務 ・ 内部管理事務　であり成果は求めにくい
- □ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- □ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価（A 高い／B やや高い／C 普通／D やや低い／E 低い）：**C**

進行年度（H24年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

説明：情報紙については平成２３年度において大幅な紙面改良を行った結果、成果指標において大きく改善が見られた。今後も魅力ある紙面づくりに努めていく。

総合評価

平成２３年度は基本的生活習慣の確立について、中でも食事と睡眠にスポットを当てて「生活リズム向上応援事業」にも取り組んだ。すぐに効果が表れるものではないが、継続して取り組むべき課題であると思われる。

総合評価（A 高い／B やや高い／C 普通／D やや低い／E 低い）：**C**

Action

平成25年度の方向性・取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

取組目標：引き続き家庭教育支援として子育て支援情報の提供と、子どもたちの生活習慣の確立に向けた取り組みを進めていく。